

グリーン・ウェーブ

GREEN WAVE

グリーンコープのうねりを地域へ

6/4 第二十五期
通常総代会報告

発行●グリーンコープ生協ふくおか 理事会
編集●広報委員会
福岡市博多区博多駅前1-5-1博多大通ビルディング3F
TEL●092-482-7770 (代)
ホームページ●<http://www.greencoop.or.jp/>

あいさつ



坂本理事長

今できることに 私たち一人ひとりが 取り組んでいきましょう

今日は第二十五期通常総代会へご出席くださいましてありがとうございます。ここからは二つのことをお伝えさせていただきます。

一つ目が皆さんもご存知の通り、今グリーンコープはカーボンニュートラルに取り組んでいます。これ以上の地球温暖化が進むことを止め、我が子やその先の子どもたちが生きる地球を守りたいと願い、今私たちができることに精一杯取り組んでいます。これまでの総代会で確認していた組合員による財源の拠出についても準備が整いましたので、7月の共同購入分から始まります。引き落としは9月からになりますので、それに合わせて店舗やキープ&ショップでの拠出、またカンパなども9月から取り組んでいく予定です。皆さんの組合員の皆さんに賛同、そしてご協力いただけるように、これから呼びかけていきます。

地球温暖化は私たちの生活に大きく影を落としています。海水温が上がり、魚が捕れなくなったり、野菜が育たず収穫できなくなったり、私たちの食べものがなくなるといったことです。そしてそれを生業とされている生産者の方々、メーカーの方々の仕事が、なくなっていくということです。

エコシリリンプの養殖池へ、マングローブの植林に行かせていただきます。その際に生産者の方から話を聞きました。長年エビの養殖をしてきていて、気候の影響が間違いないと以前と違って仰いました。水温の変化、大雨による浸水、予期せぬことが起きて予測がつかない。以前この総代会でお話ししていたいた生産者たちも言われていました。これまでの経験が全く役に立たない。そんな状況が日本だけではなく、民衆交易の産地でも起こっています。

カンパのチラシが入っていたのでご存知だと思いますが、若者気候訴訟の応援を行っています。これは中学生から大学生の若者が気候危機のない未来を求めて、気候危機は命の問題として訴訟を起こしています。大手電力会社へのCO₂排出削減を法的に求めて行っています。暑さで外遊びができない日が10月もある。部活に制限がかかる。エアコン代のためにバイトを増やさないといけない。そんな若者たちの悲痛な叫びがその場にはありました。私たち大人が、若者たちや未来の子どもたち、そして生産者たちの命を守るために、今できることに、私たち一人ひとりが取り組んでいきましょう。

そしてもう一つは、3月から供給が始まった新しいびん牛乳です。今日は特別報告です。メーカー事情により牛乳がなくなってしまうという危機をなんとか乗り越えて、びん牛乳の供給ができるようになりました。これまで先輩組合員が作り上げてこられた、以前の産直びん牛乳の良さはまだ届いていませんが、この新しいびん牛乳は、これまでできなかったことも叶えていく牛乳です。まだ歩み出している。未来に向かって私たちが願うものに向かって成長していく新しい牛乳です。多くの利用が必要で、グリーンコープの組合員が願う牛乳の誕生を目指してみんなで利用していきましょう。

限られた時間ではあります。一人でも多くの総代の方からご意見をお聞かせいただければ幸いです。そして25年度の方針を皆さんと共有し、理事会としてグリーンコープ生協ふくおかとして、総代の皆さんと共に進んでいくことを共有できればいいなと思っております。そういう場になることを願ひまして、開会の挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願ひいたします。

生活協同組合ふくおか
理事長 坂本寛子

来賓祝辞

ちよつと特別ともいえる役割を
しっかりと果たしていきたい



株式会社稲石
稲石 智一さん

今日はグリーンコープ生活協同組合ふくおか第二十五期通常総代会の開催、誠にありがとうございます。グリーンコープふくおか支部で支部長を務めます株式会社稲石の稲石です。クラブを代表しまして一言ご挨拶申し上げます。

グリーンクラブはグリーンコープに商品を納入する会社でつくる団体です。ただ会員企業はグリーンコープさん以外の商品を取り扱うこともあります。というよりほとんどが、会社がそうだと思います。そして「商品の確かさを確認する活動」等でご自身の目でご覧になった方も多く、思いが、メーカーではグリーンコープ向け商品とそうでない商品を間違えないように様々な工夫をして管理をしています。これは裏を返せば、グリーンコープ向けの商品は他と違う、特別な商品だということです。

は30年続いたデフレで物価は下がり続けました。物価が下がることは一見生活にはよいように思えますが、実際には商品の価値が価格相応、あるいはそれ以下に下がり続けてきました。それは食品で言えば、単に味が落ちるとか、包装が簡素になるとか、包

こにどうもありません。粗悪な安い原料に切り替えたり、製法を簡素化してそれを補うために薬品や添加物を加えたり、かさ増しするためには他の食材や場合によっては水分の割合をうまく増やしたりということがあちこちで行われています。そしてそれは人をだまして儲けてやろうという悪意であることは少なく、安くしないと売れない、安くするにはどうしたらいいかという単純な理由からであることが多いように思います。いわば、個人や企業の問題というより社会の仕組みがそうになってしまっている、今の資本主義の仕組みの中では、放っておくと自然にそっちに流れていくのではないのでしょうか。

今、グリーンコープさんが取り組んでおられる食の問題、貧困の問題、平和の問題、そしてカーボンニュートラルを

含む環境の問題、どれをとっても放っておいていいと思う人はいないし、誰もがなんとか解決しなくてはならないと感じることです。普通の感覚を持っている人ならば多少自分の生活が不便になっても解決したいとすら思うレベルの切実な問題ばかりだと思ふのですが、それが逆にどんな複雑な背景があるとは思いますが、そこには資本主義の、つまり利益を第一に追求しな

閉会あいさつ



中村中部地域理事長

どこかで必ず繋がれる
部分があると信じています

皆様、本日は大変お忙しい中ここにお集まりいただきまして、本当にありがとうございます。ありがとうございました。

2024年度の活動それから2025年度の方針、2024年度の決算それから2025年度の予算、様々ご承認いただきました。ご協力いただきましてスムーズに進みましたこと、感謝申し上げます。

本当に今の厳しい時代をみんなとともに過ごしていますが、クリーンコープが今後も進めていくカーボンニュートラル、新しい酪農事業、託送料金訴訟、どれも

本当にたくさん課題が山積していて、時にはくじけることもあります。けれども本日たくさんの方の意見をいただきましたし、新しい気づきの情報もいただきました。

ここに集まる皆さんを考えますと、食べ物であったり、牛乳であったり、脱原発であったり、環境であったり、せっけん福祉、平和、様々なところで心を寄せて「私グリーンコープに入ろう」って思っ

私の組合員活動の中で本当に楽しん

(中部地域理事長 中村 晶子)



議案と採決結果

総代定数386名 有効票数378票(委任状を含む出席126名 書面議決書252名)

議 案	採決結果
第一号議案：2024年度活動報告承認の件	賛成358により 可決承認 保留16・反対4
第二号議案：2024年度決算報告承認の件	賛成355により 可決承認 保留18・反対5
第三号議案：2025年度活動方針決定の件	賛成334により 可決承認 保留32・反対12
第四号議案：2025年度予算決定の件	賛成337により 可決承認 保留34・反対6
第五号議案：議案決議効力発生の件	賛成370により 可決承認 保留7・反対1

議 案	採決結果
第六号議案：役員改選の件	賛成361により 可決承認 保留13・反対4
※議長2名は採決の数に含まれていません。	
特別報告 2024年度一般財団法人グリーンコープ生協ふくおか福祉活動組合員基金運用報告の件	
特別報告 耶馬溪ファーム、TMRセンター、グリーンコープミルク工場の現状報告	
特別報告 託送料金訴訟の上告について	



▲議長を務められた
中遠支部 津田 則子さん(左)
久留米支部 高波 和代さん(右)



▲会場ようす

〈24年度決算と25年度予算〉

一、決算

- (1)2024年度のグリーンコープは、新しい産直、2027カーボンニュートラルの実現へ向けて、この運動に参加する組合員を増やすことを通じて、事業を強化し、更に力強く運動を進めていくことを柱に据えて様々な取り組みを行った1年でした。
- (2)この方針のもと私たちの生協事業は総供給高281億1,007万円で予算比96.6% (▲9億8,170万円) と予算を下回り、前年比は100.3% (+8,102万円) と前年を上回りました。事業経費合計は80億4,629万円 (予算比100%) で予算を303万円上回りました。事業外収支等1億9,138万円を受け入れ、税引前剰余金は9,630万円の黒字となり、昨年総代会で議決いただいた予算 (2億4,017万円) に対し▲1億4,386万円となりました。
- (3)法人税等3,087万円の計上を行い、当期剰余金は6,544万円です。
※1万円の差額は表示上、千円以下の端数処理によるものです。
- (4)当期首繰越剰余金3億97万9千円に当期剰余金6,544万円を計上し、3億6,641万円を当期末処分剰余金とします
- (5)当期剰余金処分として、法定準備金を660万円とし、次期繰越剰余金3億5,981万円とします。

二、予算

- (1)供給高289億989万円、事業総剰余82億394万円を計画します。コロナ前 (2019年度) の組合員拡大実績の120%を達成し、利用組合員を増やし、前年比102.8%の供給高を予算化します。
- (2)事業総剰余82億394万円 (前年比：102.7%、前年差：2億1,453万円) としました。
- (3)税引前剰余5,047万円の収益を予算化します。前年から4,583万円の減収計画です。

	〈単位：千円〉			〈単位：千円〉	
	'24年実績	予算比	予算差	'25年予算	前年比
供給高	28,110,066	96.6%	△ 981,696	28,909,885	102.8%
供給剰余	7,547,320	97.5%	△ 192,163	7,760,667	102.8%
受取手数料	295,914	99.1%	△ 2,693	297,093	100.4%
共済手数料	140,810	98.0%	△ 2,909	140,815	100.0%
その他手数料	5,368	102.8%	144	5,369	100.0%
事業総剰余	7,989,412	97.6%	△ 197,621	8,203,944	102.7%
人件費	1,688,983	102.1%	34,449	1,740,699	103.1%
物件費	6,357,305	99.5%	△ 31,420	6,534,363	102.8%
経費合計	8,046,288	100.0%	3,030	8,275,063	102.8%
事業剰余	△ 56,875	-39.6%	△ 200,650	△ 711,119	125.0%
事業外収入	193,168	196.1%	94,662	128,828	66.7%
事業外費用	1,792	84.7%	△ 324	7,240	404.3%
経常剰余	134,501	56.0%	△ 105,665	50,469	37.5%
特別損益	△ 38,198	0.0%	△ 38,198	0	
税引前剰余	96,303	40.1%	△ 143,863	50,469	52.4%
法人税等	30,866	0.0%	30,866		
税引後剰余	65,437	27.2%	△ 174,728		